

高崎市教育委員会定例会会議録

開 会 年 月 日

令和7年4月24日（木） 午後2時00分

閉 会 年 月 日

令和7年4月24日（木） 午後2時27分

会 議 の 場 所

教育委員会室

教 育 長 小 林 良 江

教育長職務
代 理 者 田野内 明 美

委 員 新 井 英 夫

委 員 横 田 裕 正

事 務 局（説明員）

教育次長 村 上 正 和

教育部長 青 柳 正 典

公民館担当部長 川 嶋 昭 人

学校教育担当部長 依 田 哲 夫

教育総務課長 宮 澤 信 宏

社会教育課長 新 井 静 香

文化財保護課長 角 田 真 也

中央公民館長 湯 浅 貴 弘

中央図書館次長 富 岡 也 寸 彦

教職員課長 春 山 敦 夫

学校教育課長 松 村 久 美

健康教育課長 亀 山 理 映

教育センター所長 小 池 芳 典

高崎経済大学附属高等学校事務長 山 口 順 子

書記 教育総務課 鈴 木 智

高崎市教育委員会 4 月定例会会議録

教育長（小林良江）

皆様お集まりいただき、ありがとうございます。本日は、今年度最初の定例会となりますので、会議に先立ちまして、人事異動に伴う職員の紹介を事務局からお願いします。

（職員の自己紹介）

教育長（小林良江）

それでは、これより高崎市教育委員会 4 月定例会を開会いたします。

この際、諸般の報告を申し上げます。塩野委員から、本定例会を欠席する旨の届け出がございました。以上で、諸般の報告を終わります。

議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第 1 会期の決定といたしまして、会期は、本日 1 日といたします。

日程第 2 会議録署名人の指定といたしまして、会議録署名人に、新井委員と横田委員を指名させていただきます。よろしくお願いたします。

日程第 3 会議録の承認といたしまして、前回の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認させていただきます。

教育長（小林良江）

それでは、本日の議事に入ります。

承認第 1 号「臨時代理の承認について（高崎市教育委員会組織規則及び高崎市教育委員会事務局教育部長に対する事務委任に関する規則の一部改正）」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（宮澤 教育総務課長 説明）

教育長（小林良江）

説明が終わりましたが、本案に対してご質問等ございますでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

よろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。本案は原案のとおり決することにご異議ありませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

ご異議なしと認め、承認第 1 号は原案のとおり決しました。

続きまして、議案第 8 号「高崎市教育機関の適正配置及び設置に関する審議会委員の

委嘱について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

(春山 教職員課長 説明)

教育長（小林良江）

説明が終わりましたが、本案に対してご質問等ございますでしょうか。

(「なし」との声あり。)

教育長（小林良江）

よろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。本案は原案のとおり決することにご異議ありませんでしょうか。

(「異議なし」との声あり。)

教育長（小林良江）

ご異議なしと認め、議案第8号は原案のとおり決しました。

続きまして、報告連絡事項に入ります。「令和7年度における学校（園）施設の工事計画について」の説明をお願いします。

(宮澤 教育総務課長 説明)

教育長（小林良江）

説明が終わりましたが、ご質問等ございますでしょうか。

(「なし」との声あり。)

教育長（小林良江）

よろしいでしょうか。

以上で、予定していた議事の審査は終了いたしました。事務局からその他、報告等あります。

(「特になし」との声あり。)

教育長（小林良江）

次に、委員の皆様からこの際、ご意見・ご質問等はございますでしょうか。

教育長職務代理者（田野内明美）

今日は午前中、西小学校で給食を試食させていただきました。その際、栄養士さんにお話を伺いましたが、栄養面等様々なことを考えていただいております。また、児童に美味しく食べてもらいたいという気持ちを感じました。

1年生、2年生、6年生の教室で、児童が食べている様子を見学させていただきました。食べ残しや残飯の量も少なく晴らしいと思いましたが、児童に「美味しい?」「何が好き?」と聞いたところ、「今日の給食はとっても美味しかった」「何でも好き」といった答えが返ってきました。とても笑顔で、給食は児童にとって楽しい時間だと思えました。

今まで知らなかったのですが、低学年は食事の量も少なく、揚げパンも小さめでした。また、余ったものの争奪戦のジャンケンもあって、先生に勝ったらもらえるというもの

ですが、クラスの半数くらいの子が、おかわりをしたいと手を挙げていました。給食には、それだけ惹きつけられるものがあると思いました。一日の中で、給食の時間はとても短いですが、配膳の時の美味しそうな匂いから、実際に口にして食べ終わるまでの時間というのは、児童にとってはとても大切で、大人にとってもこういう時間の大切さを見直していく必要があると感じました。今まで、このような機会がなかったので、給食の現場を見させていただき、大変勉強になりました。

教育長（小林良江）

他に、ご意見・ご質問等がありますか。

委員（新井英夫）

先日奈良県で発生した落雷事故と、最近の感染症の状況として百日咳及びはしかの流行について情報提供したいと思います。

4月10日の17時50分頃、奈良市の帝塚山学園のグラウンドに落雷があり、男子中学生5人と女子高生1人が病院に搬送されました。17時40分頃から小雨が降り始めて、直ぐに止んだのですが、再び強い雨が降り始めて、その直後、17時50分頃に落雷があったということです。生徒3人が意識を失い、近くの管理棟からAEDを持ち出して2人に使用し、もう1人は心臓マッサージを施したと報道されています。2人が意識不明のままだったのですが、1人はその後意識が回復し、もう1人は現時点で意識が回復していない状況です。

今回のケースは、急激に天候が変化したため、判断が難しかったと思いますが、奈良市の西部には、雷注意報が出ていたと聞いております。今回のことに関して雷の専門家から、雷注意報が出ていれば、気象庁の雷ナウキャストを10分置きに確認し、中止するかどうかの判断をしてほしいというコメントがありました。

愛知県では2014年に落雷での死亡事故があり、中京大学及び愛知県の中学校体育連盟では、雷検知器を導入して対策を取っているようです。この予測し難い事態に関して、高崎市の雷対策として雷検知器の導入は難しいかもしれませんが、雷ナウキャストの活用はいかがでしょうか。

健康教育課長（亀山理映）

高崎市の小中学校では、市の安心ほっとメールを活用しています。落雷事故があった4月10日の翌日、高崎市でも雷注意報が朝から出ていたため、健康教育課から各学校に周知しました。今回の奈良の事故では、部活動の顧問の先生が雷の情報をキャッチしていなかったことも原因の1つと考えられるので、管理職だけでなく、全教職員が雷の情報をキャッチできるよう、安心ほっとメールの登録を促す文書を掲示板に掲載しました。これについては、5月2日の校園長会議でも、校園長先生に改めて呼びかけをする予定です。

委員（新井英夫）

追加ですが、この時3人が意識不明で倒れ、AEDを2人に使用し、1人は心臓マッサージを施したということは、3人が心停止した疑いがあるのですが、AEDは何台あったのか気になったところです。部活動等の最中にグラウンドで心停止が起こったとしても1人だと思いますが、落雷事故が起きた場合、心停止する人は複数人いる可能性が

あることも考慮したほうが良いと思いました。

次に感染症情報ですが、現在百日咳が流行しています。2018年、2019年に、日本で大きな流行があったのですが、それに匹敵するくらいです。今年の患者数は現時点で5,652人を数え、既に昨年1年間の4,093人を上回っています。群馬県の今年の患者数は現時点で39人を数え、昨年1年間の34人を上回っています。年齢別では、高崎市は10歳代が多いですが、東京都は5～9歳、10～19歳が多くなっています。東京都では、生後1ヶ月の女児が百日咳にかかり、呼吸不全及び腎不全で亡くなられております。また、詳細は不明ですが、群馬県でも生後2ヶ月の乳児が百日咳にかかり、非常に重症であると聞いております。中国でも昨年の1～3月に百日咳が大流行しました。59,000人がかかって13人が死亡しています。そのほとんどは、3ヶ月以下の乳児です。

百日咳で1番重要なのは、予防接種をまだしていない、できない1～3ヶ月の乳児をいかに守るかということに尽きます。方法は2つあり、1つは、乳児の周辺に感染を持ち込まないよう家族が感染しないことで、そのために5歳、6歳、10歳、11歳における百日咳ワクチンの予防接種を公費にすることが必要と考えます。中国はこの状況を受けて、6歳でも百日咳ワクチンを打つように、予防接種のスケジュールを変更しています。もう1つは、妊婦さんにワクチンを打って、妊婦さんを通じて赤ちゃんに抗体を与える方法です。これは、イギリスとアメリカで既に行われており、非常に高い評価を受けています。日本ではこの方法は承認されていないため、今後の課題だと思います。

また、百日咳に加え、はしかも流行しており、今年に入ってから全国で78人出ています。これは、昨年1年間の45人を既に上回っています。そのうち37人は海外で感染したと思われ、国別ではベトナムが最も多く、その他タイ、フィリピンでも出ています。かかった方の居住地の県別では、大阪府、兵庫県、神奈川県、東京都と大都市が多い状況ですが、群馬でも1人出ています。

教育長（小林良江）

ありがとうございます。

教育長（小林良江）

他にいかがでしょうか。

委員（横田裕正）

私の子どもが通学している小学校では、朝学校が開く前に、多数の児童が学校の前で待機しているのを見かけますが、共働き世帯が多くなり、保護者の出勤時間が早い児童は、学校が開くまで外で待つ状況になっているようです。

先日の上毛新聞に、県のモデル事業として、県内12ヶ所に子どもの朝の居場所作りを行うという記事がありました。高崎市では、放課後の学童保育はありますが、朝学校の前には児童が待機していることに対して、児童を預かる等、検討していることがあるかお聞きします。

学校教育担当部長（依田哲夫）

現時点で教育委員会として具体的な対応はありませんが、4月に新設された放課後児童クラブ支援課と協力しながら、良い方法を検討していきたいと思っております。

委員（横田裕正）

県で話が出始めているので、市としても、子ども達のために検討していただければと思います。

教育長（小林良江）

他にいかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

以上をもちまして、教育委員会4月定例会を閉会させていただきます。本日は、大変ご苦勞様でした。